

総務委員会

総務委員会は各ブロック長(単P会長)と教職員代表の先生とで構成されたメンバーで、主に常任委員会(会長)の司会進行、ブロック会や人権学習会などの運営に携わってきました。

メンバーは個性豊かな方々でしたが、子どもたちへの熱い思いのもと、現在抱えているいろいろな課題やこれからの運営についての意見交換・方向性の検討などを行い、積極的に取り組むことができました。

来年度も継続し、より良い活動ができることを望んでいます。一年間ありがとうございました。

谷村 陽平 (委員長・三浦中P)

稲葉 千景 (副委員長・常磐小P)

西尾 雅紀(朝明中P)

伊藤布孔美(西朝明中P)

中島 修平(橋北中P)

平井 真人(塩浜小P)

平山 正樹(小山田小P)

川上 太郎(桜中P)

原 雅樹(港中T)

岸田 諭記 (市P連会長・中部西小P)



小学校委員会・中学校委員会

小学校委員会・中学校委員会では、生活の中での片付けを通して親子のコミュニケーションを軸に子どもとの時間を大切にしながら家族が笑って過ごせる空間作りを...と小学校・中学校委員会合同で企画をし、準備に取り組んでまいりました。

平成29年11月25日(四)四日市文化会館・第3ホールにおいて、整理収納教育士の須藤有紀さんをお迎えし、講演会を開催する

ことが出来ました。今後もより良い活動を行っていきけるよう工夫していきたいと思っております。

小学校委員・中学校委員の皆さんの温かいご協力に、心より感謝いたします。

一年間本当にありがとうございました。

宮越 祥代 (委員長・高花平小P)

鈴木 俊史 (副委員長・河原田小P)

岸野 雅哉(富洲原小P)

豊田 祐二(海蔵小P)

伊藤 裕子(常盤西小P)

堤 洋子(常盤西小P)

江川卓三郎(神前小P)

竹川 昌俊(富洲原小T)

古川 優喜 (中学校委員)

生川 勝信 (委員長・山手中P)

清水 誠司(富田中P)

館 頼子(山手中P)

廣田 幸紀(港中P)

坂下 聡宏(笹川中P)

鈴木 利枝(三重平中P)

服部 良(内部中T)



幼稚園委員会

幼稚園委員会は委員長と各ブロックの幼稚園委員、教職員代表の計七名で活動しています。年六回の委員会は各委員の

幼稚園の一室をお借りして行いました。10月12日(木)に市内の幼稚園・こども園の代表の方々に参加して頂き、交流会を開催し、各園の取組等の情報交換をしました。来年度の取り組みの参考にして頂ければ幸いです。一年間、笑いつばい楽しく活動して頂きました。ありがとうございました。

井上 綾子(委員長・桜小P)

馬野 美保(羽津幼P)

永田 陽子(橋北幼P)

野堀紗規子(三重北小T)



広報委員会

広報委員会の主な活動はこの市P連ニュースの発行と広報紙コンクルの開催です。コンクルには今年度もたくさんのご応募ありがとうございました。各学校の個性があり、子供たちへの思いがこぼれ詰まった魅力的な広報紙ばかりでした。

また、初めて広報紙の作成に携わられる方・よりよい広報紙づくりを目指す方々のお力になれるよう5月に広報紙づくり研修会を開催しています。一年間、皆様のご協力のおかげで楽しく活動できましたこと心から感謝いたします。

伊藤紅己子 (委員長・富洲原中P)

太田 千景 (副委員長・海蔵小P)

藤井 千晴(富田小P)

佐藤かおり(羽津小P)

阿部志津江(浜田小P)

田中美喜子(内部小P)

川井奈穂子(三重西小P)

高橋 典子(羽津北小T)

顧問



市P連顧問として子どもたちの育成と健全な成長のために、学校・園と保護者をつなぐ架け橋として、温かいご助言・ご指導をいただきました。

佐藤 孝之(保々中学校長)

南出かおり(中央小学校長)

水谷 有子(高花平幼稚園長)

三泗地区 県立高校展

平成29年11月18日(土)総合会館にて第一回三泗地区県立高校展を開催しました。

四日市内からは保護者210名、中学生137名、小学生38名の計385名、三重郡と合わせて合計517名の参加をいただきました。

足元の悪い中とても多くの方々にお越しいただき盛大に行うことが出来た事、心から感謝致します。

第一回ということで改善点等もたくさんありますが、来年度以降、より良い形で開催できるように検討していきたく考えております。



平成29年7月15日(日) 第2回常任委員会において、葛西教育長にお越しいただき講話して頂きました。四日市全体の教育など貴重なお話が聞けた事が大変良かったと思います。

幼稚園交流会

平成29年10月12日(木)四日市文化会館第4ホールにて、幼稚園・こども園の23園の代表の方々にお集まり頂き交流会を開催しました。

交流会では「運動会のPTA競技と参加方法」「園自慢をテーマに5グループに分かれて話し合いました。各園「運動会」ではPTAの呼びかけ・景品を工夫されている事、「園自慢」では地域の皆様の協力を得て楽しんで取り組まれている事がわかりました。

今年も園生活に役立ててもらえる様な交流会を開催していきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願いたします。

養成講座を受けたことをきっかけに、会社を辞めてプロのクラウンに転身。抜群の運動神経と大きな体を活かした大技が得意というところで、その場にある物を頭の上に乗せようというパフォーマンスを得意とする。

芸などのパフォーマンスは観客を惹きつけます。

病院を訪ね、闘病中の子どもたちに笑顔を届ける「ホスピタル・クラウン」の活動を、日本を中心に海外でも行なっており、被災地でのパフォーマンスも積極的に取り組んでいます。

新聞・雑誌・テレビでも数多く取り上げられ、「笑いは職場環境を変える」などの講演会を年間

家庭の目標講演会 大人が笑えば子どもは笑う

講師 大棟 耕介さん



200本ほど行っているらしいです。まず講演会に先立ち、皿回し・ジャグリング・バルーン・椅子を頭の上に乗せる等々、様々なパフォーマンスを披露してくださいました。パフォーマンスが始まると会場が一瞬にして大棟さんに惹きつけられていました。驚きあり笑いありのとても楽しい時間でした。

その後、テレビに出演された際のDVDを拝見しました。訪れた病院で子どもたちが本心に心から笑っているのが印象的でした。でも、大棟さんはこうおっしゃっていました。最初は笑ってくれない子どももいた。病院の子どもたちはお母さんが笑っているのと自然と笑顔になつてくる。だからまずはお母さんを笑わせよう。自分たちホスピタル・クラウンは決して病気を治そうと考えることではない。少しの勇気を与えているだけ。

そして講演が始まりました。筆記が追いつかない程、次々と素晴らしいお話をお伺いできました。人との出会いは一期一会。お互いの貴重な時間をこの場に集める。だから僕は一生懸命話します。本当に一生懸命話してくださいました。

パフォーマンスとは空気を変える事、あるいは空気を埋めること。クラウンとは隙間を埋める名脇役とおっしゃっていました。

大げさなリアクションとへりくだりで状況をひっくり返すこと、観客を前のめりにさせること。ホスピタル・クラウンとしての病院でのパフォーマンスでも、空気が変わり子どもたちの口数が増え、子どもたちは声が大きくなり、前のめりになるそうです。笑いは場の空気を変えるだけでなく、病気の子どもたちをも変えていっていると思います。

最後に大棟さんは、思いは伝わらないけど思いやりは伝わる。人間はおもしろいと笑うものだけど、笑ってあげればだんだんおもしろくなってくる。意図的に笑うことも大切なんだと。そして、笑顔は伝播するとおっしゃっていました。

子育てをしていると、つい子どもにイライラしてしまったりして最近は大きな声で笑っていないなど反省しました。大人が笑えば子どもは笑う。私たちが意図的でないから笑って、子どもたちの笑顔あふれる社会を作りたいです。

ね。



編集後記

たくさんの方々のご協力のもと、無事に29年度の市P連ニュースを発行することができました。この一年間広報部の活動を通して、様々なイベントに参加させていただきました。どのイベントも楽しいものばかりで、充実した時間を過ごすことができました。その中でも特に印象的だったことは、漫画家の高野優さんとの出会いです。講演会でお話を聞かせていただき、笑いあり涙ありの本心に心に染み入る時間となりました。その後、間近で拝見する機会もあり、写真も撮らせていただきました。とても有意義な一年になったことを実感しています。最後に、この紙面を作成するにあたり、たくさんの方々にご協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。